

Plone2.5の新機能

Zope Essential 4
2006/08/02

Ploneのバージョン

■ Plone2.0系列

- Plone2.0.5 ... 2004年12月リリース

■ Plone2.1系列

- Plone2.1.2 ... 2006年1月リリース
- Plone2.1.3 ... 2006年6月リリース

■ Plone2.5系列

- Plone2.5.0 ... 2006年6月リリース

■ 今後のバージョン

- Plone3.0 ... 2007年??
- Plone3.5 ... 200?年??

PloneとZopeのバージョン

PloneはZopeのバージョンに依存する部分があります。
下表は現在よく使われているバージョン組合せ一覧です。

Plone2.0.5	Plone2.1.2		Plone2.5.0	
	Plone2.1.3			
Zope2.7.0～ Zope2.7.9	Zope2.7.0～ Zope2.7.9	Zope2.8.0～ Zope2.8.8	Zope2.8.7～ Zope2.8.8	Zope2.9.3～ Zope2.9.4
Python2.3.5 Python2.3.4可	Python2.3.5 Python2.3.4可	Python2.3.5 Python2.3.4可	Python2.3.5 Python2.3.4可	Python2.4.3 Python2.4.2可
ZODB3.2	ZODB3.2	ZODB3.4 (With MVCC)	ZODB3.4 (With MVCC)	ZODB3.6 (With MVCC)

Plone2.5の主な新機能

- プレースフルワークフロー(位置依存型ワークフロー)
- PlonePAS(認証システムの変更)
- CacheFuを同梱
- スクリプト内メッセージの翻訳機能

プレースフルワークフロー

- プレースフルワークフローは、位置依存型ワークフローとも言われています。
- 今までは、アイテム(コンテンツタイプ)ごとに、ワークフローを選択し、決定していました。
- この機能を使用すると、フォルダ単位に、アイテムに対するワークフローを決めることができます。

PlonePAS

- 今までの認証・ユーザ管理は、GroupUserFolderを使用していました。
- 他の認証システム(LDAPなど)と組み合わせる時も、GroupUserFolder経由で認証していました。
- PlonePASでは、認証システムが見直され、スマートに連携が取れるように変更になりました。シングルサインオン環境が作りやすくなりました。

- 一例 (Gmailのアカウントで、Ploneにログインさせる)

- <http://plone.org/products/gmailauthplugin> から
- プロダクトをダウンロードし、プロダクトフォルダに展開し、Zopeを再起動
- ZMIから「acl_users」に移動し、プルダウンメニューから「GMailAuthPlugin」をAddする。
- Addしたオブジェクトをクリックし、「**Activate**」タブへ。
- 「**Authentication** (*authenticateCredentials*)」のチェックボックスを選択し、「Update」を行う。
- Ploneのログイン画面から、Gmailのメールアドレス(@gmail.comを含む)を「ユーザ名」に、Gmailのパスワードを「パスワード」に入力し、ログイン。

CacheFu

- キャッシュのマネージメントを行う、プロダクト。
- Squid(キャッシュサーバ)と一緒に使うことで効果が大きい。
Zope単体や、Apacheとの組合せでも効果がある。
- 同梱されているだけで、デフォルトでは、プロダクトとして認識されていない。
- CacheFuフォルダ内の下記のフォルダを、プロダクトフォルダにコピーまたは移動する。
 - CacheSetup
 - PageCacheManager
 - CMFSquidTool
 - PolicyHTTPCacheManager
- プロダクトを追加・削除でCacheSetupをインストールする。

- 数倍から数十倍の高速になり、効果が出る場合が多い。

Plone2.5の日本語問題

- Plone2.5で一部の文言が変更になり、それに対応する、poファイルを作成しました。
 - Plone2.5.0のリリースに極僅かな差で間に合いませんでした。
 - 現在は、一部の文字が英語のまま表示されると思います。
 - 後日、最新版の日本語poファイルが公開されます。(と思います)
- スクリプト内メッセージの翻訳機能
 - Zope3などで利用されている、Pythonのメッセージ翻訳機能に準拠
 - poファイルには準備されていた翻訳メッセージをようやく使えるようになった。
 - CMFPlone/skins/plone_login/join_form_validate.vpy など

```
(Plone2.1.3) state.setError(field, 'This field is required, please provide some information.', 'input_required')
```

↓

```
(Plone2.5.0) state.setError(field, _(u'This field is required, please provide some information.'), 'input_required')
```

その他

- フォルダのコンテンツタブでコンテンツの順番をドラック&ドロップで自由に変更
- ZMIから設定していた、「ナビゲーション」について「サイト設定」-「ナビゲーションの設定」から行うことができるようになった。